

【年間テーマ ～ スタッフの抑制廃止に対する意識づけの方法（指導方法）を考える～ 】

平成 28 年 6 月 14 提出

日付	平成 28 年 6 月 11 日（土）			
場所	天神福岡ビル 9階		記録者名：平山寛美	
出席者 (敬称略)	稲築病院看護師 大村保子	八幡東病院看護師 瓜生和秀	永野病院介護士 大倉五月	福岡市仁会病院看護師 平山 寛美
	シーサイド病院看護師 梅田みゆき	丸山病院看護師 平川良子	福西会南病院介護士 井上まゆみ	松尾内親病院看護師 矢野 美奈
テーマ	抑制の資料の持ち寄り、情報を共有する。			
結論	<p>大村氏：人権委員会があつて抑制のマニュアルを作っている。抑制をしない工夫をしている。抑制の合致基準に合っているかベッドサイドで検討し、水曜日のPMから抑制のカンファレンスをしている。</p> <p>瓜生様：人権委員会がある。毎月ラウンドを行い、書類のチェックをしている。毎日評価シートの審査もしている。現在はミトンが6件のみである。</p> <p>平川氏：マニュアル、同意書、経過表について説明。10日に1回カンファレンスをしている。</p> <p>矢野氏：身体拘束廃止委員会が中心に活動している。毎日のチェックシート、患者に異常があつたら抑制は中止している。抑制は基本3ヶ月で見直ししている。介護職が毎日ラウンドしている。家族との連絡を密に行なっている。</p> <p>大倉氏：マニュアル、対応策について説明。抑制している人は毎日カンファレンスを行なっている。抑制の代替案を検討している。</p> <p>梅田氏：拘束委員会がある。2ヶ月に1回はカンファレンスをしている。3ヶ月を目処に見直しをしている。対応と対策を検討している。</p> <p>井上氏：看護師の指示の元抑制を実施している。</p> <p>平山：抑制のマニュアルと対応策について説明。毎月抑制委員を中心にラウンドを行ない、年間目標を上げて実際の抑制対象者の集計を出している。</p>			
決定事項	<p>次回の会議の時にはアンケートの集計を持参する。</p> <p>本日の会議で何か自分の病院に持ち帰って、実施して評価する。</p>			
備考	司会：梅田みゆき氏			
次回討論項目	持ち帰った結果と評価。アンケートの作成とアンケートの集計			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局